

フランス映画祭2015 in 関西 特別ゲスト:エリック・ラルティゴ Invité special : Eric Lartigau [シネ・ヌーヴォのみ]

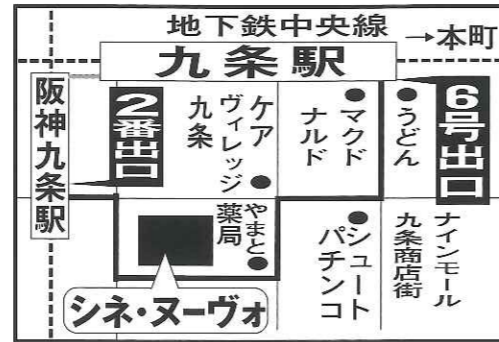
関西では今年で4回目となるフランス映画祭。旬の監督など豪華ゲストと共に最新のフランス映画をお届けします。今回は珠玉のクラシック作品も加わり更にパワーアップ!

上映スケジュール CALENDRIER

会場/シネ・ヌーヴォ

6月27日(土)	19:00	ヴェルヌイユ家の結婚狂騒曲
6月28日(日)	19:00	EDEN エデン
6月29日(月)	18:30	エール! ※上映後、エリック・ラルティゴ監督のティーチンあり
6月30日(火)	19:00	ティンブクトゥ
7月1日(水)	19:00	たそがれの女心
7月2日(木)	19:00	冷たい水
7月3日(金)	19:00	イタリアのある城で

★入場料金: 一般 1300円、シニア 1100円、学生 800円、会員/クラブ・フランス会員 800円
★チケット販売開始時間: 期間中連日10:00より販売
(当日券のみ、前売券の販売はございません / 整理番号でのご入場・全席自由席)



シネ・ヌーヴォ 大阪市西区九条1丁目20-24
Tel: 06-6582-1416 www.cinenouveau.co.jp
◎地下鉄中央線「九条駅」6号出口徒歩3分 ◎阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分

会場/京都シネマ

7月4日(土)	19:10	エール!
7月5日(日)	19:10	アクトレス〜女たちの舞台〜 ※上映後、坂本安美氏(アンスティチュ・フランセ日本映画プログラム主任)によるティーチンあり
7月6日(月)	19:10	ヴェルヌイユ家の結婚狂騒曲
7月7日(火)	19:10	冷たい水
7月8日(水)	19:10	たそがれの女心
7月9日(木)	19:10	美しいひと
7月10日(金)	19:10	ティンブクトゥ

★入場料金: 一般 1300円、シニア 1100円、学生 800円
京都シネマ会員/クラブ・フランス会員 800円

★チケット販売開始時間: 当日、開館時より販売
※開場時間は劇場までお問い合わせください ※当日券のみ、前売券の販売はございません ※本編開始後のご入場はお取り扱いいたしません ※整理番号順でのご入場・全席自由席 ※場内での飲食はご遠慮ください



京都シネマ 京都市下京区烏丸通四條下る西側COCON烏丸3F
Tel: 075-353-4723 www.kyotocinema.jp
◎阪急烏丸線「烏丸駅」23番出口スグ ◎市営地下鉄「四條」駅2番出口スグ

会場/同志社大学寒梅館 ハーディーホール

6月29日(月)	15:00	身をかわして
	17:15	エール! ※上映後、開津 広氏(DJ/オールビスト・ジャポン/京都精華大学非常勤講師)によるティーチン
	18:30	EDEN エデン ※150席限定

★入場料金(各回入替制): 一般 1300円、学生 800円
Hardience会員/京都シネマ会員/クラブ・フランス会員 800円
※同志社大学学生・教職員(同志社内諸学校含む)無料
※ティーチンは無料。ただし当日のチケット及び半券をお持ちの方のみ入場可。
※『EDEN エデン』は、14:00より整理券配布。

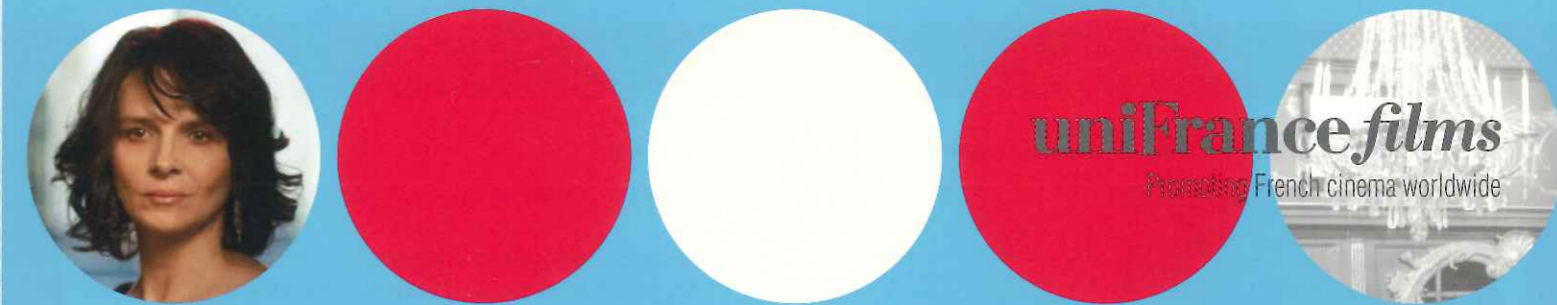


同志社大学 今出川校地学生支援課

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
Tel: 075-251-3270 http://d-live.info/ [学生支援課公式HP]
アクセス: 地下鉄今出川駅下車、2番出口より北へ60m程。
駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

主催:アンスティチュ・フランセ日本 共催:シネ・ヌーヴォ、京都シネマ、同志社大学今出川校地学生支援課 特別協力:ユニフランス・フィルムズ
Organisé par l'Institut français du Japon / Co-organisé par Ciné Nouveau, Kyoto Cinema, Université Doshisha / Avec le soutien d'Unifrance Films

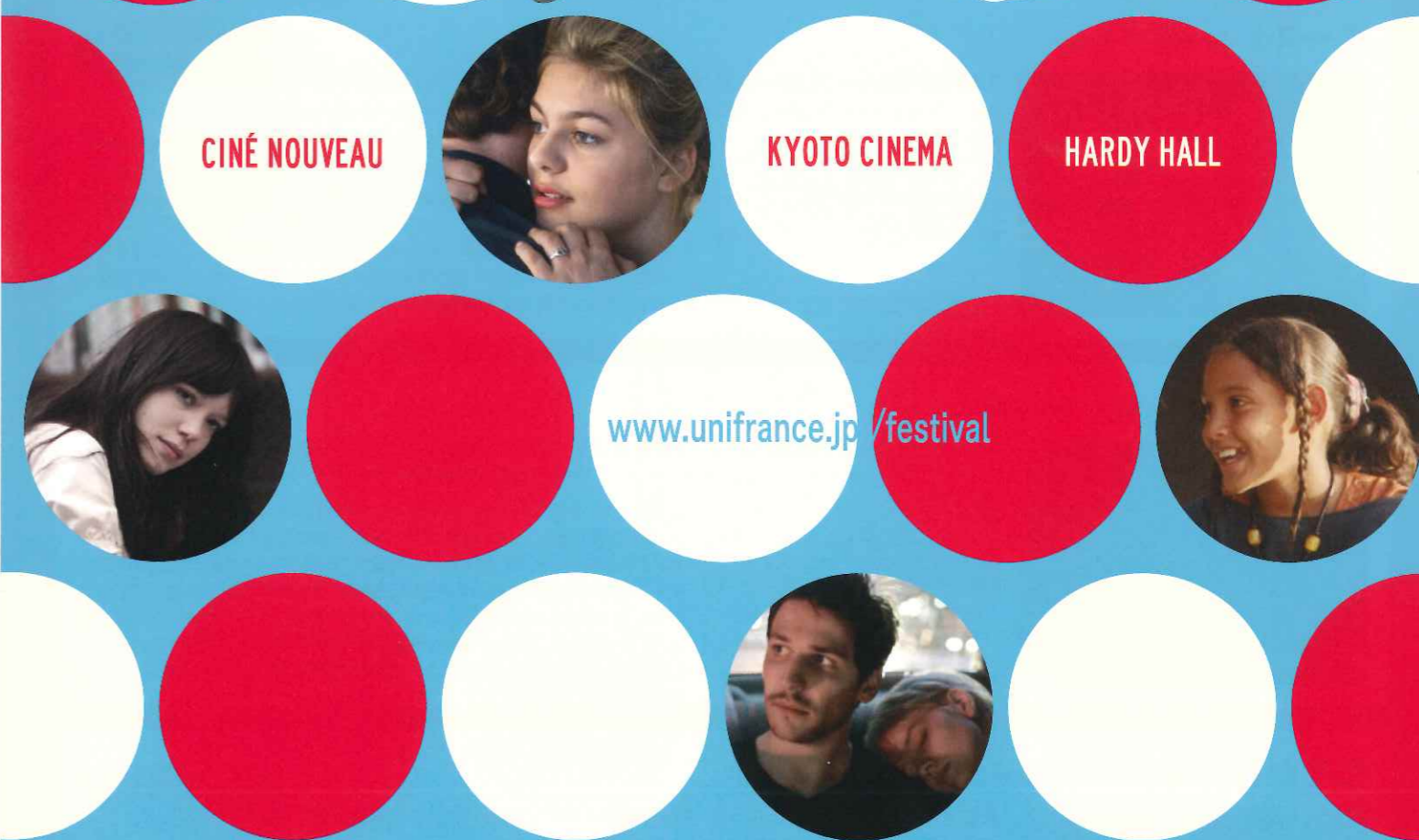
お問い合わせ: アンスティチュ・フランセ関西一京都(旧 関西日仏学館)
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 Tel: 075-761-2105 Fax: 075-761-2106 E-mail: kansai@institutfrancais.jp
アンスティチュ・フランセ関西一大阪(旧 大阪日仏センター=アリアンス・フランセーズ)
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-2-11 Tel: 06-6358-7391 Fax: 06-6358-7393 E-mail: kansai.osaka@institutfrancais.jp



フランス映画祭 2015

FESTIVAL DU FILM français AU JAPON

in 関西



2015年6月27日(土)~7月3日(金) 会場:シネ・ヌーヴォ
6月29日(月) 会場:同志社大学寒梅館 ハーディーホール 7月4日(土)~10日(金) 会場:京都シネマ



ヴェルヌイユ家の結婚狂騒曲 *Qu'est-ce qu'on a fait au bon Dieu ?*



「神様、なぜ私たちがかりがこんな目に?」ヴェルヌイユ夫妻の苦悩は尽きない…。
★2015年 リュミエール賞 脚本賞受賞
監督: フィリップ・ドゥ・ショーヴロン
出演: クリスチャン・クラヴィエ、ジャンタル・ロビー
2013年/フランス/97分

© 2013 LES FILMS DU 24 - TF1 DROITS AUDIOVISUELS - TF1 FILMS PRODUCTION

昨年4月にフランスで公開され、観客動員1200万人を突破した大ヒットコメディ。ロワール地方の町シノンに暮らすヴェルヌイユ夫妻は敬虔なカトリック教徒。三人の娘がユダヤ人、アラブ人、中国人と結婚し、せめて末娘だけはカトリック教徒と、願っていた夫妻は、パリで暮らす末娘のボーイフレンドがカトリック教徒と聞いて安堵する。だが、末娘が連れて来たのはコートジボワール出身の青年だった…。宗教、異文化についての際どいギャグを交えつつ、多様な人種が混在するフランス社会の懐の深さを大いに感じさせる作品。

EDEN エデン *Eden*



90年代フレンチ・エレクトロ・シーンを舞台に描くDJポールの成功と挫折。
監督: ミア・ハンセン＝ラヴ
出演: フェリックス・ド・ジヴリ、ポーリーヌ・エチエンヌ、ヴァンサン・マケルニ
2014年/フランス/131分
配給: ミモザフィルムズ

© 2014 OG CINEMA - FRANCE 2 CINEMA - BLUE FILM PROD - YUNDAL FILMS

90年代フランス、エレクトロ・ミュージックが台頭する中、ポールはエキサイティングなパリのナイトライフでDJとしての一歩を踏み出していた。彼は親友と「Cheers」と呼ばれるデュオをつくり瞬く間にオーディエンスの人気を得ていく。「EDEN エデン」はフレンチ・ハウスの世界的成功と、Daft Punk、Dimitri from Paris、Cassiusのようなミュージシャンを代表とする「フレンチタッチ」ジェネレーションの軌跡を背景に、ひとりのDJの成功と挫折、愛と友情を描く。

2015年9月
新宿シネマカリテほか
全国順次ロードショー

エール! *La Famille Bélier*



フランスからまた一つ、笑って、泣ける、最高に愛おしい映画がやってくる—
★2015年 セザール賞 最優秀新人女優賞受賞 ★2015年 リュミエール賞 最優秀新人女優賞・最優秀主演女優賞受賞
監督: エリック・ラルティゴ
出演: ルアンヌ・エメラ、カリン・ヴィアール、フランソワ・ダミアン、エリック・エルモスニー
2014年/フランス/105分
配給: クロックワークス、アルパトロス・フィルム

© 2014 - Jerico - Mars Films - France 2 Cinema - Quarante 12 Films - Vendéma Production - Nexus Factory - Umedia

フランスの田舎町。農家を営むベリ工家は、高校生のポーラ以外、父も母も弟も耳が聴こえない。陽気な母、熱血漢な父とおませな弟。オープンで明るく、仲のいい家族だ。ある日、ポーラの歌声を聴いた音楽教師はその才能を見出し、パリの音楽学校のオーディションを受けることを勧める。夢に胸をふくらませるポーラだったが、彼女の歌声を聴くことができない家族は彼女の才能を信じることもできず大反対。ポーラは悩んだ末に、夢を諦める決意をするのだが…。ポーラの夢と家族への愛を乗せた奇跡の歌声が観客を魅了し、驚異の大ヒットを記録した感動作。

2015年10月31日(土)
新宿バルト9ほか
全国順次ロードショー

ティンブクトウ (仮題) *Timbuktu*



本年度セザール賞を席巻! フランスで100万人を動員した感動作が日本初公開。
★2015年 セザール賞 最優秀作品賞・監督賞・脚本賞・音響賞・撮影賞・編集賞・音楽賞受賞 ★2015年 アカデミー賞® 外国語映画賞ノミネート
監督: アブデラマン・シヤコ
出演: イブラヒム・アメド・アカ・ピノ、トゥウ・キキ、アベル・ジャフリ
2014年/フランス・モーリタニア/97分
配給: RESPECT 配給協力: 太秦

© 2014 Les Films du Worso © Diane Vision

本年度セザール賞を席巻し、米アカデミー賞®外国語映画賞部門ノミネートの本作は、世界遺産登録のマリ共和国の古都を背景に、音楽を愛する父と娘がイスラム過激派の弾圧に苦しみ、戦う姿を描いた感動作。ティンブクトウからそう遠くない街でキダーンは家族と音楽に溢れる幸せな生活を送っていたが、過激派が街を占拠してからは、彼らの法によって支配され、歌、笑い声、たばこ、そしてサッカーでさえも禁止され毎日のように悲劇と不条理な懲罰が繰り返されていた。一家はティンブクトウに避難するのだが、ある出来事によって彼らの運命は大きく変わってしまう。

2015年公開予定

たそがれの女心 *Madame de...*



創立120周年を迎えた仏ゴーモン社。そのラインナップから珠玉の1本を上映!
★1954年 アカデミー賞® 最優秀衣裳賞ノミネート
監督: マックス・オフェルス
出演: ダニエル・ダリユー、シャルル・ボワイエ、ウィットリオ・テシエラ
1953年/フランス/95分
デジタルリマスター上映
提供: アンスティチュ・フランスセ・パリ本部

© 1953 Gaumont (France) / Rizzoli Films (Italia)

華やかなリゼル・エボック期のパリ。ある将軍の妻が浪費の末につくった借金に困り、夫から贈られた耳飾りを、オペラ座でなくしたことにして売ってしまう。耳飾りは夫から愛人、そしてイタリアの男爵を経て、男爵と道ならぬ恋に落ちた将軍の妻の手に戻るが…。ダイヤの耳飾りをめぐり、運命の歯車にもあそばされる上流階級の男女の人間模様を、流麗なカメラワークで描く大家マックス・オフェルスによるメロドラマの傑作。戦前から21世紀に至るまで、その美貌と存在感でフランス映画史を彩る女優ダニエル・ダリユーの魅力が堪能できる作品。



冷たい水 *L'Eau froide*



「アクトレス」のオリヴィエ・アサイヤスが自らの青春時代を当時の音楽とともに描いたカルト的作品。
監督: オリヴィエ・アサイヤス
出演: ヴィルジニール・ドワイヤン、シブリアン・フォーケ、ラスロ・サボ、ジャン＝ピエール・サルサン
1994年/フランス/92分

© DR

1972年、パリ近郊の同じ高校に通うジルとクリスティーヌはそれぞれ学校や親とうまく行かずにいる。森の廃墟で火が焚かれ、ドラッグを吸い、音楽とともに盛り上がる仲間たちの中で、クリスティーヌは旅に出ようとジルに打ち明ける。後半の森でのパーティーのシーンはジャンス・ジャップリン、CCR、ニコ、ポプ・ディラン、ロキシー・ミュージックなど当時の曲によって構成されている。「この映画が持つであろう意味についての直感がひらめいたのはおそらく、思い出を脳裏に駆け巡らせながら、自分の感情を捨て、登場人物たちによって我を忘れた時でしょう。最初のページに、私はほとんど考えることなく、「冷たい水」というタイトルを走り書きしていました」。(オリヴィエ・アサイヤス)

イタリアのある城で *Un château en Italie*



女優で監督であるヴァレリア・ブリュニ＝テデスキが自伝的要素を散りばめて撮ったロマンチック・コメディ。
監督: ヴァレリア・ブリュニ＝テデスキ
出演: ヴァレリア・ブリュニ＝テデスキ、ルイ・ガレル、フィリップ・ティミ
2013年/フランス/104分

© DR

結婚もせず、子供もいないルイズは、突然現れた20歳年下のナタンに出会い、再び夢を膨らませる。病気の弟、母親、そしてイタリア中産階級大家族の一員であるという名家の運命…ルイズを取り巻く数々の物語。家族が崩壊し、ひとつの世界が終り、そして愛が始まる。イタリア出身でフランス育ち、幅広い役柄を演じ分ける実力派女優として名立たる監督の映画作品に出演し、セザール賞若手女優賞を受賞しているヴァレリア・ブリュニ＝テデスキの3作目となる長編監督作品。彼女自身の体験を投影しながら、実際に暮らしていたというイタリアのお城で撮影し、実の母親がそのまま彼女の母親役として出演している。数々の映画祭で脚光を浴び、2013年のカンヌ映画祭にてパルムドールにノミネートされた最新作。

身をかかわして *L'Esquive*



パリ郊外の若者たちを生き生きと描き、セザール賞にて主要4部門受賞という大挙を成し遂げた作品。
監督: アブデラティフ・ケシシュ
出演: サラ・フォレストイエ、オスマン・エルカラス、サブリナ・ウアザニ
2004年/フランス/117分

© DR

クリモは、パリ郊外のHLM(低所得者向け公営団地)に住む15歳の少年だ。いつかヨットで世界の果てまで行くことを夢見ている。仲間たちと代わり映えのない毎日を過ごしていたクリモは、活発でちゃめっけのある同級生のリディアに恋心を抱くようになる。彼女はマリブオーの戯曲を公演するための練習に夢中。なんとリディアの気を引こうと、クリモはアルルカンの役を演じることを決心するが…。昨年日本でも「アデル、ブルーは熱い色」が目されたケシシュの長編二作目。「演劇が人生に属しているように、人生も演劇に属しているのだというルノワール作品の大いなる教訓のひとつを確認している」(ジャン＝フランソワ・ロジェ)。

アクトレス～女たちの舞台～ *Sils Maria*



大女優の光と影を、圧倒的映像美とクラシック音楽で描く極上ドラマ。
★2015年 セザール賞 助演女優賞受賞

監督: オリヴィエ・アサイヤス
出演: ジュリエット・ビノシュ、クリステン・スチュワート、クロエ・グレース・モレッツ
2014年/フランス・スイス・ドイツ・アメリカ・ベルギー/124分
配給: トランスフォーマー

© 2014 OG CINEMA - PALLAS FILM - CAS PRODUCTIONS - VORTEX SUITA - ARTIE FRANCE CINEMA - ZDF/ARTE - ORANGE STUDIO - RTS RADIO TELEVISION SUISSE - SRG SSR

大女優のマリアは、マネージャーのヴァレンティヌと二人三脚で仕事に挑んでいた。ある日、マリアは自身がブレイクするきっかけとなった作品のリメイクへ出演依頼を受ける。しかし、その役柄は過去に演じた若き美女ではなく、彼女に翻弄される中年女性。主人公役は、ハリウッドの若手スター女優だった…。カンヌ映画祭で喝采を浴び、セザール賞助演女優賞も射止めた本作。きらびやかな世界に生きる大女優の葛藤と孤独を、スイスの大自然を切り取る美しい映像とジャンルの協力による華やかな衣装、そして壮大な音楽で優雅に繰り、観るものの心を惹きつける傑作だ。

2015年秋
ヒューマントラストシネマ有楽町ほか
全国順次ロードショー

美しいひと *La Belle Personne*



今を時めく若手女優レア・セドゥ、フランス映画界の貴公子ルイ・ガレルが共演した「クレーヴの奥方」現代版。
監督: クリストフ・オルレ
出演: レア・セドゥ、ルイ・ガレル、グレゴワール・ルブラン＝ランゲ
2008年/フランス/97分

© DR

ジュニーは、母をなくして従兄弟のマチアスの一家のもとに身を寄せ、パリの高校に転校する。ジュニーはおとなしいオットーと付き合い始めるが、イタリア語教師又ムールと出会い、強く惹かれ合う。ジュニーは又ムールへの想いを隠し、オットーへの真節を守ろうとするが、誤解から悲劇が生まれる……。 「才能あふれる若き俳優たちの口から飛び出す台詞は、驚くほどに適切である。 (…) クリストフ・オルレは登場人物に言語、つまり豊富な動詞と言葉という見事な贈り物を与えることで、彼らを偉大にしている(アブデラティフ・ケシシュの「身をかかわして」やローラン・カンテの「パリ20区、僕たちのクラス」も同様)」。ファビアン・レイル「クリティカ」